

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大阪青山大学

2025 年 8 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針（平成 18 年文部科学省告示 71 号） ・実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（平成 18 年環境省告示第 88 号） ・大阪青山大学動物実験規程 ・大阪青山大学実験動物の飼養保管マニュアル ・大阪青山大学の動物実験施設における緊急災害時対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）及び環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）に基づき、大阪青山大学動物実験規程、同実験動物の飼養保管マニュアルの必要な改正を行っており、また、大阪青山大学の動物実験施設における緊急災害時対応マニュアルを制定し対応している。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・基本方針 ・大阪青山大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針が規定する 3 要件の委員を含む動物実験委員会を置いている。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・基本指針 ・大阪青山大学動物実験規程及び申請書等各種様式（令和4年4月1日施行） ・大阪青山大学動物実験規程及び動物実験計画書等各種様式（令和6年4月1日施行）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験規程に動物実験計画の立案、申請、審査、結果報告等を定めており、それに沿った各種様式も定めている。また、規程に基づく実験結果報告書、動物実験及び飼養保管状況の自己点検票も提出されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☒ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・基本指針 ・大阪青山大学動物実験規程（第16条）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程には安全管理に注意を要する動物実験ができる規定としているものの、現状はその施設がなく、また実施を予定していないことから、規程で定めている動物実験計画書において、「本学では安全管理に注意を要する動物実験はできません。」と記載している。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
--

2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管基準 ・大阪青山大学動物実験規程 ・大阪青山大学実験動物の飼養保管マニュアル ・大阪青山大学の動物実験施設における緊急災害時対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管マニュアルを改正し、逸走時の対応内容を充実した。また、緊急時の対応について、大阪青山大学の動物実験施設における緊急災害時対応マニュアルを令和7年2月に制定し、緊急時にはマニュアルに沿った対応を実施することとしている。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

なし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 大阪青山大学動物実験規程、動物実験計画申請書、委員会議事録、改正後の規程に基づく動物実験結果報告書、動物実験の自己点検票、実験動物の飼養保管状況の自己点検票、教育訓練の内容及び参加者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 大阪青山大学動物実験規程に基づき、学長の諮問機関として委員会を開催し、自己点検・評価報告書の内容及び関連事項に関して審議している。
4) 改善の方針、達成予定時期 委員会活動の改善点はないが、令和7年度内に改善すべき諸課題の議論等を通じて、委員会の役割をより適正に履行すべく情報共有と意識向上を図ることとする。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画申請、委員会議事録 ・改正後の規程に基づく動物実験結果報告書、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書を審査し、学長の承認を得るとともに、動物実験結果報告書と動物実験の自己点検票により動物実験の実施状況を把握している。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
--

☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・基本指針 ・大阪青山大学動物実験規程（第 16 条）、動物実験計画申請書等
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記各資料の検証
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・基本指針 ・飼養保管基準 ・実験動物の飼養保管マニュアル、飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 給餌・給水、ゲージ交換等は動物実験実施者自身が行い、また動物実験実施者は、管理者、動物実験責任者等と相互に協力し、実験動物の飼養及び保管の適切な管理に努めることとしている。加えて、管理者が指名する実験動物管理者が実験動物の状態を確認し把握している。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認申請書（施設開設時の書類）、改正後の規程に基づく実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 施設担当者による定例確認と実験動物飼養保管状況の自己点検票の提出によって、適正に維持

管理されていることを把握しており、加えて、動物実験委員会も飼養保管施設の視察を行っているものであるが、検証結果報告書に基づき、引き続き、温度・湿度等の環境条件の記録にロガー等を用いることを検討していく。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和7年度内の予定

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・教育訓練資料、学生実験の教育訓練参加者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記各資料の検証と実験動物管理者及び動物実験責任者への確認している。また、教育訓練資料及び参加者名簿については、適正に整理・保管している。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪青山大学動物実験規程、実験動物の飼養保管状況、自己点検・評価報告書 ・上記資料を本学ホームページ「情報公開」に掲載
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 大学ホームページ「情報公開」－「動物実験等に関する情報」に基本指針及び動物実験規程に基づき動物実験に関する情報を公開（ https://www.osaka-aoyama.ac.jp/about/disclosure/ ）している。また、動物実験に関する検証結果報告書（2024年3月）を公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 なし

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

なし
